

令和7年度 2学期始業式 校長式辞

皆さん、おはようございます。まずは、皆さんが本日の始業式を大きな事故・けがなく、無事に元気で迎えられたことを大変うれしく思います。あわせて、皆さん自身の行動と、保護者等を始め、皆さんを見守り支えてくださった多くの方々に感謝します。

さて、皆さん、この夏休みを振り返ってみて、どうぞごせましたか？今年の夏は危険な暑さでしたね。7月下旬に本県の柏原で国内最高気温41.2℃とこれまでの浜松市、熊谷市の41.1℃を更新するというニュースも記憶に新しいところでしょう。そのような状況を踏まえ、本日の始業式もリモートとしました。今朝、登校時の皆さんの表情や日焼けした肌をみて、3年次生は進路実現に向けての準備、1、2年次生は部活動や補習に夏休み前よりもさらにたくましく、成長した姿をみせてもらえました。

ここでうれしいニュースを披露しておきます。1学期の終業式後に鳥取県米子市で8月7日～11日の5日間に渡り、開催されるウエイトリフティング部6名が出場する全国インターハイ壮行会を行いました。何とそのうち3名が優勝という素晴らしい成績を残してくれました。女子学校対抗においても1点及ばず第2位というこれも本校女子史上としては最高順位だそうです。（拍手をお願いします。）勿論、出場した6名全ての生徒の頑張りがあっての明石南高校としての結果であると思っています。本当におめでとう。そして、お疲れさまでした。

私はこのウエイトリフティング部の健闘を他人事としてとらえてほしくないのです。確かにウエイトリフティング界にとっては快挙であり、雲の上のような存在であるかもしれませんが、本校にとってはこんなに身近に「やればできるお手本」がこの学校内に3名もいるのです。彼らがこれから成長するためにも、この明石南高校が、いや、生徒一人ひとりが身近なお手本を参考に、学校生活だけでなく、社会生活においても成長を遂げていくことが本校にとっても「在りたい未来、なりたい自分を創造し、夢実現」につながることに、確信しています。どの分野においても最初から一流とよばれる人は誰一人いません。徐々に自分の限界を超え、自分を成長させていくしか道はないのです。逃げたり、あきらめるのは簡単です。こんな身近にいいお手本があるのです。皆さんも「やればできる精神」を皆さん自身の心の中に留め続け、挑戦しつづけてください。失敗を恐れず、失敗してもプロセスを重視して、「どこで間違ったのか」「いつまでにどうすればよいのか」などのリカバリーを含む良い準備をしていくことで、「失敗は成功のもと」となりうるのではないのでしょうか。

2学期は皆さんにとって、1年で一番長く、一番成長できる、充実できる時期となります。学校生活にも慣れ、生活面で時間のゆとりを感じ、そのゆとりを自分自身に使うことができるようになります。特に、2年次生は間近に迫った修学旅行があり、10月には体育祭、11月には中学生向けのオープンハイスクールなどの学校行事や、部活動においても県秋季大会や県総合文化祭も実施されるなど実りの秋にふさわしいイベントが控えています。勿論、3年次生にとっては、就職試験や推薦入試という進路実現に向けて高校生活の集大成となります。是非、最後まで諦めずに挑戦してほしいと思います。

最後に、休み明けで少し気持ちが乗らない、しんどいと感じる人もいるかもしれませんが、一人で抱え込まないで話しやすい人に相談しましょう。相談でなくとも、思っていること、愚痴でもかまいませんが、誰かに話を聞いてもらうだけでも気が楽になることもあります。

今月もまだまだ気温が高い日が続くようです。皆さん一人ひとりが基本的な生活習慣の改善に努め、健康意識を向上していくことで、心も体も元気な学校につながることもなります。

それでは2学期も天候に負けないくらい、雲一つない澄み切った気持ちで、前向きに夢実現にむけて頑張っていきましょう。皆さんにとって、2学期がさらに充実したものになるよう、期待して、2学期始業式の式辞とします。

令和7年9月1日

学校長